

まるで美術館！～文化部や美術の授業の作品展示より～

頸城中では文化部が、放課後、真剣に、時には和気あいあいに美術の作品制作にいそしんでいます。また、美術の授業では、菅原先生の指導のもと、生徒が個性や工夫あふれる作品を制作しています。それらは校内の様々なところに展示されており、期末面談では、保護者の皆様からご覧いただきました。10月のくびき文化祭でも一部展示していましたが、力作ぞろいです。来校された際には、ぜひ生徒の作品をご覧ください。



頸城中生徒の活躍

◆上越地区小中学校、家庭技術・家庭科作品展（作品 スピーカーボックス）

奨励賞 塩崎 華斗 さん（2年） 大島 ヒカル さん（2年）

上野 もゆか さん（2年）

今年も教育活動へのご協力ありがとうございました。来る年が皆様にとって輝かしい一年となりますようお祈りいたします。

学校だより



頸城中HPにアクセス！

町内回覧

頸城

令和4年12月19日 No. 8

上越市立頸城中学校

〒942-0164 頸城区潟口 60

TEL 530-2405 FAX 530-2014

学校メール kubiki-j@jorne.or.jp

PTA 講演会「出会いが変われば人生が変わる」 講師 中村 文昭 様

12月7日（水）、くびき振興財団様よりお力添えを賜り、希望館で3年ぶりにPTA講演会を行いました。講師の中村文昭様は、三重県でレストランなどの会社を経営するかたわら、多くの著書の出版や全国各地での講演など、精力的に活躍されています。実体験に基づいたバワフルな中村様のお話に引き込まれ、80分の講演があっという間に過ぎてしまいました。生徒にとって、自分を振り返り、勇気をもらうよい機会になりました。生徒の感想をいくつか紹介します。

「頼まれごととは試されごと」どうしても勉強や部活動のことが積み重なり、いらいらしてしまうことが多かったので、中村さんのお話を聞いて、頼まれて「面倒くさい」とか思わず、「試してますね？」と思って、それ以上の結果で返すということが、今後の人生にもつながっていくことだと分かりました。講演してくださり、ありがとうございました。（1年女子）

今日の講演会で、自分は初めて将来への方程式を見つけることができました。自分は、これまで「自分×X＝将来」のXの部分で何をすればよいのか分からなかったのですが、今日の中村さんの話を聞き、Xの部分では、頼まれたことを嫌がらず、むしろ「この人、試しているな。」という気持ちが必要だと知りました。人生で初めて感動する話を聞くことができ、本当に良かったです。（1年男子）

今がどんな状態だとしても、ちゃんと考えて行動すれば、いくらでも変わることができ、考えることは大切だなと感じました。そのとき嫌だったことも、後々ネタにできるように、もっと自分で世界を広げて少しでも変われるようになりたいと思いました。「頼まれごとは試されごと」という言葉を頭に入れ、みんなから感謝されるような人になろうと思いました。（2年女子）

「過去の嫌な出来事は、全て感謝に変わる。」と聞いて、これまでの失敗などから、今後、学べることがあるのかもしれないと知って、失敗することが怖くてできなかったものに挑戦してみようと思った。「頼まれごとは試されごと」の話を中村さんから具体的に聞いて、自分も実践してみたいと思った。（3年女子）

中村さんのお話で、これから先の将来について、すごく楽しみになりました。中村さんが言っていた「頼まれごとは試されごと」という言葉で「そうだったんだ」と思って、講演会が終わった後、家に帰り、お母さんに「荷物持って。」と言われたときに、進んでやって、「ありがとう。」と言われ、「こんなに嬉しいんだ。」と思ったので、これからも続けたいです。（2年男子）

「人が幸せになるときは、周りの人を幸せにしたときだ。」という言葉が心に刺さった。「人の幸せは、自分勝手では生まれないんだ。」という意味があるように感じた。頼まれたことを全力で行えば、自分を助けたり、協力してくれる人がたくさんできたりするのは、その人の人間性で引き寄せているのでは、と思った。（3年男子）

令和5年度生徒会正副会長が決定

12月6日（火）の午後、立会演説会を行いました。その後、終学活時に投票し、即日開票を行いました。翌7日（水）に決選投票を行って、令和5年度生徒会正副会長を決定しました。

今年は、生徒会長候補に1名、男子副会長に3名、女子副会長に3名の立候補があり、総勢7名での選挙活動となりました。学年・学級で協力し合い、活発な選挙活動が繰り広げられました。

1年生にとっては、初めての選挙活動でしたが、元気いっぱい
の声で呼び掛けを行っていました。この取組を通して、リーダーと
フォロワーの役割について考え、頸
城中をよりよくするために一人一

人が行動することについて考える機会になりました。2年生にとっては、中学に入学してから、委員会や生徒会総務委員の活動などを通して培った力で頸城中を見つめ直す機会となりました。3年生にとっては、「次の頸城中を託す」という視点で、1・2年生の演説を聞いたり、選挙活動に取り組む姿を見守ったりしました。立会演説会での現生徒会三役以外からも、立候補者に対して質問が出るなど、候補者の主張について、真剣に理解しようとする姿勢を見られました。

まだ、コロナ禍により活動に制限があった中、今年度の3年生は、三役の



生徒会長 大瀧ほの香 さん（2-2）

男子副会長 水澤 陽彩 さん（2-1）

女子副会長 上井 はな さん（1-1）



立候補者への質問が出ました。

公約をすべて実現するなど、工夫して活動を進めました。特に、「くびきの祭典」や「えちご・くびき野100キロマラソン」など、中学入学後、初めて経験するイベントにも、積極的に関わろうとしていました。その姿勢に対しては、地域の皆様からお褒めの言葉をいただきました。頸城中生の活動に際し、ご理解やご支援を賜り、ありがとうございました。

当選した3名は、3年生の姿を見本としながら、全校生徒の先頭に立って令和5年度の生徒会活動をさらに発展させるよう頑張ることと思います。生徒会長に決まった大瀧さんのスローガンは、「一致団結〜楽しもう 認め合おう〜」です。また、副会長の水澤さんのスローガンは、「明るく誠実な学校づくり」、上井さんのスローガンは、「一人ひとりの意見を尊重して充実した学校」です。これから新しい生徒会活動に向けた準備が始まります。ご期待ください。

入学説明会

11月22日（火）に「第1回入学説明会」を行いました。令和5年度入学予定の小学6年生の保護者の皆様からお越しいただき、武道場で学校から中学校生活について説明したり、業者から制服・通学カバンなどの購入について説明したりしました。遅い時間



にもかかわらず、多くの保護者の皆様からお越しいただきました。ありがとうございました。頸城中学校では、教育目標「豊かな心を持ち たくましく実践する生徒」の育成を目指し、日々、授業や学校行事、生徒会活動などに一生懸命取り組んでいます。ぜひ、頸城中への入学をお待ちしております。



職員研修

頸城中学校では、授業改善のため、職員がペアになってお互いの授業を見合い、よいところや改善点などを話し合い切磋琢磨しています。その中から、今回は、小林先生の保健体育の授業を紹介します。

小林先生は教員1年目です。講師経験など今まで培った経験を活かし、日々、指導方法を工夫して授業を行っています。11月30日（水）に、同じ1年目の先生に2年2組の跳び箱の授業を公開しました。

授業前には、跳び箱の安全確認を確実にに行い、準備体操を入念に行っていました。また、跳び箱の高さを4段階に分け、個人のレベルに応じて高さを選べるようにしたり、各自で決めた難易度に挑戦できるようにしたりしていました。

実技では、生徒がペアになり、タブレット端末を使用して、互いの跳ぶ様子を動画で撮影しました。その後、撮影された動きを互いに確認し、改善点を意識して練習に取り組めるよう工夫を凝らしていました。全体として、運動量を十分に確保しながらも、考える体育を実践していました。2年2組の生徒の取り組み様子も一生懸命で素晴らしく、参観に来られた他校の先生方も、「男子も女子も積極的に取り組む様子が素晴らしい。」と感心していました。

